

## 専守防衛を捨てたのですか？

### — 南西諸島のミサイル基地化に反対！ —

方山 みどり

#### ● 安保三文書は戦争への道？

今まで憲法9条のもとで専守防衛を貫いてきた日本は世界に安心感を与えてきました。ところが一転、昨年末、岸田政権は安保三文書を国会にも通さず閣議決定しました。

敵基地攻撃能力の保有と集団的自衛権の発動で日本が攻撃を受けていなくても米国への攻撃は自国への攻撃とみなし他国を攻撃出来るようになりました。攻撃すれば攻撃されます。これから日本は米国が仕掛けた戦争に巻き込まれ、やがては戦争になるのではないかと危惧しています。

武力の行使は現在のロシア、ウクライナの戦争でも明らかのようにたくさんの兵士が戦死し、終わりの見えない戦いをしています。戦争は多くの命を犠牲にして悲惨な最後を迎えるのです。

統合防空ミサイル防衛 (IAMD) は米軍が同盟国と共に地球規模でミサイル迎撃や攻撃を行うものです。これから自衛隊は米軍の指揮下に入り、自衛隊員が殺し、殺されるのではと心配です。また、5年間で43兆円もの軍事費増額には呆れます。GDP比2%で軍事力は世界第3位になり軍事大国です。人を殺す兵器を爆買いするのはもってのほかです。



トマホーク

#### ● 沖縄 南西諸島の島々はミサイル基地

台湾有事、中国の脅威を想定して次々と自衛隊基地が造られてきました。

2016年与那国島、2019年宮古島、奄美大島。2023年3月石垣島新設。そして、鹿児島県馬毛島では今年1月12日から自衛隊基地建設が始まりました。全て米軍と一体化したもので、ミサイル基地になります。

基地では地对艦、地对空ミサイル部隊の配備や電磁波で敵の通信、レーダーを妨害する電子戦部隊等が配備されます。また、相手のミサイル攻撃を回避する為の通信機器室や作戦室等が地下に造られる事になりました。この件に関し防衛省は「この地下室は地域住民たちの避難を目的としたものではない。」と言い放ち、島の人々の命を守ろうとする気配さえ感じられません。

防衛省は当初「自衛隊基地建設はあくまでも我が国を

防衛する為のもので他国を攻撃するものではありません。」と説明してきました。しかし、今回の改定で攻撃出来るようになったのです。そして島にミサイルが飛んで来るかもしれないのです。狭い島に大きな基地。それがいかに危険なことか。このミサイル基地は島民の命を守るためではなく何を守るのでしょうか。



《 出展：沖縄タイムス 》

一旦有事になれば島民はどこにも避難出来ずに逃げまどうだけです。

基地建設計画当時、住民たちは基地建設の賛成、反対に分かれ島の人々が分断される事態に陥りました。今の島の現状を見た賛成派だった住民が「ミサイルが来るなら賛成しなかった。」と戸惑い苦悩する姿がありました。

先の戦争で地獄のような体験をしてきた沖縄の人々。戦後は米軍基地に振り回され、これからはミサイルに脅える生活です。幾重にも苦難の道を歩まなければならない沖縄。沖縄の犠牲の上に私たちの生活が成り立っているようにさえ感じます。

沖縄を再び戦場にさせないために今私たちに出来る事をやらなければと決意しています。

#### ● メディアの果たす役割

メディアは安保三文書の改定後、その中身をまともに取り上げてきませんでした。財源をどうするかの議論にすり替えてきたのです。本来なら連日特集を組み国民にきちんと知らせなければならない事態です。報道機関の役割は「公正、中立、国家権力に屈せず、国民の利益に適う」を理念としているのではないのでしょうか。最近の報道姿勢はその理念を放棄しているようにさえ感じます。

#### ● 今、私は心の底から叫びます！

戦争はイヤだ！

安保三文書 大反対！ 撤回を！

対話による平和外交を！